



《生きるよろこび —drawing room》2700×3600×2400mm 2015 / TRANS ARTS TOKYO 2015 / 東京神田 / 長島ビル4F



神田は子どものころから「パパのかいしゃ」があるところ、黒いアタッシュケースとともに記憶に刻まれている。でも実際に行ったことはなかった。

制作中、気分転換にそのへんを適当に散歩していたら、カッコいい建物があって、見てみると博報堂の社屋だった。あれ、と思った。

TATの地図をあらためて広げてみる。

父が新卒で入社したのが博報堂だ。わたしが生まれる前だから、どこにあるかなんて考えたことなかったけ

ど、神保町にあったのか、全然知らなかった。その後、転職した御茶ノ水の出版社で母と職場結婚し、

もう一度転職した会社がわたしが覚えている「パパのかいしゃ」で須田町にあった。

学士会館で結婚式を挙げ、銀婚式を家族で祝い、亡くなって葬儀もおこなった。

パパはだから、ずっと神田を行ったり来たりしてたんだなあと思った。

そんなことを考えながら制作に通った。

わたしの展示会場は、須田町と博報堂、学士会館のある神田錦町を結ぶ五十通りにある。 2015/10